

# 高断熱住宅の誕生から20年 断熱住宅はここまで進んでいます

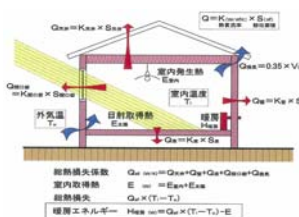
## 低成長・環境時代の家 Q1.0住宅の提案

### 暖房エネルギーを一般的な高断熱住宅の1/2～1/3まで削減

## この冬、県内 3ヶ所でQ1.0住宅説明会

キューワン \*下線部参照

北海道で高断熱住宅が開発され、東北に普及しておよそ20年が経過しました。この間、外断熱がいいとか、グラスウールは壁の中で腐るとか、巷間色々なことが言われて来ましたが、結局それらは建材メーカーの《商売文句》だったことに多くの人が気づきました。室蘭工業大学の鎌田紀彦教授は今Q1.0(キューワン)住宅を提案しています。Q1.0(キューワン)住宅とは、一般的な高断熱住宅(国交省の次世代省エネ基準)で建てた家の2倍から3倍の省エネ性能を持つ住宅です。しかも、大がかりな設備を取り入れるようなことはしていません。熱損失を抑え、開口部や断熱を少し工夫することで実現しています。省エネは設備機器の導入でも実現できますが、順序は逆です。住宅の構造が省エネ型になっていれば「設備」は後から如何様にでもなります。10年程度で寿命が来る設備に頼っては低成長時代に合いません。大切なことは、住宅そのものが省エネを実現できる構造になっているかどうかです。これから家づくりを計画されるなら是非一度Q1.0住宅の話しを聞いて下さい。損はありません。



熱の取得(気象データ)と損失(住宅の断熱性能)計算がQ1.0住宅のポイント(小冊子セミナーテキスト)

それまで灯油650%使用していたが、Q1.0住宅に改修後、2年連続ほぼ200%で暖かく暮らさせている(仙台)



## ～ 山形県内 3カ所 市民住宅セミナー ～

主催 NPO法人新木造住宅技術研究協議会

地域	日程	時間	会場
村山地域	1月23日(土)	13:30～15:30	山形市 産業創造支援センター
最上地域	2月13日(土)	13:30～15:30	新庄市 わくわく新庄
庄内地域	2月20日(土)	14:00～16:00	鶴岡市 鶴岡地域職業訓練センター

お申込み・お問い合わせ 事務局までFAX・メールでお願い致します。 資料代 ¥500

NPO法人新木造住宅技術研究協議会

仙台市若林区かすみ町24-10

TEL 022-781-1371 FAX 022-781-1372 E-mail aizawa@shinjukyo.gr.jp

室蘭工業大学鎌田紀彦を代表理事とする高断熱住宅の普及啓蒙を目的として昭和60年に発会。平成17年にNPO法人認証。全国約650の会員からなる高断熱高気密を基本性能とした住宅技術の総合研究機関。山形県内では地域工務店等55社が加盟、技術を学んでいる。

予告

リフォームで高断熱住宅  
平成22年2月6日、7日  
県内6ヶ所 体験見学会

ホームページ <http://www.shinjukyo.gr.jp/>

新住協

検索

詳しくは1月中旬ホームページ等で発表します。お楽しみに!